

新入生保護者の皆様へ

**神奈川県立大学学生総合補償制度書類一式在中**

**重 要**

必ずご覧ください

**申込締切日  
2022年3月31日(木)**

新入生保護者の皆さまへ

重要につき、必ずご覧ください。

神奈川大学・大学院（2022年度）

このパンフレットには2022年度神奈川大学・大学院学生総合補償制度別冊がついています。あわせてお読みください。

# 学生総合補償制度 (学生・子ども総合保険)のご案内

この保険は学校法人神奈川大学が保険契約者となる団体契約です。  
神奈川大学・大学院にご入学された方の制度です。

団体割引

10%適用

ご入学

おめでとうございます

保険料は1日わずか約62円!!  
(A1セットご加入の場合)

保険料は一時払い。  
A1セットご加入の場合、1日あたり  
わずか約62円で4年間の補償が  
得られます!

充実した24時間補償!!

大学内やレジャー・アルバイト・インターンシップ中のケガから第三者への賠償責任(国内示談交渉付き)や扶養者に万が一の事故があった場合の学資費用まで補償。(セットにより補償内容が異なります。)

手続きが簡単!!

医師の診査は不要。  
1回のお手続きで保険期間の4年間、  
または2年間補償されますので  
安心です。

保険期間

大学1年生の方

2022年4月1日午前0時\*から2026年4月1日午後4時まで 4年間

博士前期課程の方  
(または学部生3年生)

2022年4月1日午前0時\*から2024年4月1日午後4時まで 2年間

※始期日以降のお申込みについては、入金日の翌月1日から補償開始となります。(例)4月1日~4月30日にお申込の場合は、5月1日補償開始)

募集締切日

2022年3月31日(木)まで(お早めにお手続きください。)

(募集締切日は3月31日ですが、なるべく入学手続と同時にしてお手続きください。なお、募集締切日後もご加入手続は可能ですが、保険料が変更となるためお手続前に㈱KUIパートナーズまでご連絡をお願い申し上げます。)

お申込方法

同封の払込取扱票(学生総合補償制度申込書(加入申込票))に必要事項をご記入のうえ、最寄りのゆうちょ銀行・郵便局よりお手続きください。

ご加入者  
(お申込人)

神奈川大学・大学院に在籍する学生の保護者の方

被保険者  
(補償の対象者)

神奈川大学・大学院に在籍する学生の方(入学等手続を終えた方を含みます。)  
※賠償責任補償は学生ご本人のご加入でご家族も補償の対象となります。

※学資費用補償は、「扶養者」が補償の対象となります。  
扶養者として指定できる方の詳細は、契約概要のご説明(別冊8ページ)をお読みください。

学校法人神奈川大学

**扶養者の方がケガや病気で死亡された場合やケガにより重度後遺障害になられた場合**

## 大学生のお子さまが卒業するまでに必要な費用をご存知ですか？



入学後の**4**年間で、約**998**万円必要です。  
(入学金、入学諸費用を除いた教育費+生活費)

(私立大学自宅外通学生の場合(学寮生を除く) 独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)「平成30年度学生生活調査」より)

### 学資費用保険金のお支払例

#### 〔ご加入条件〕

A1セット(自宅通学生プラン)に大学入学時ご加入の場合

- ・保険期間:4年間(2026年4月1日まで)
- ・学業費用支払対象期間:2026年4月1日まで
- ・学資費用保険金額(ケガ):  
(1年につき)100万円  
(実際にかかった費用)
- ・授業料(年間実額):100万円  
大学1年生は50万円(前期分支払済み)

#### 扶養者の事故 (ケガの場合)

大学1年生の4月30日の事故の場合

学資費用保険金は、入学当初のご卒業予定時までに支払った、事故日以降の毎年の授業料等の学費を実額でお支払いします。支払年度ごとに学資費用保険金額が限度となります。



※事故日以前に支払った学費は補償されません。保険金は学費実費を実際にご負担された後のお支払いとなります。

#### お支払例は、ケガの事故の場合です。

※A1・A2・B1・B2セットの場合、学資費用は病気による死亡の場合も補償の対象です。(保険金額は異なりますので、ご確認ください。)

地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波により、扶養者が重度後遺障害になられたり、死亡した場合の学資費用も補償されます。

# 神奈川大学学生総合補償制度は

学生生活のみならず日常生活を送るうえで直面するさまざまな危険を総合的に補償する制度です。

## I. 賠償責任補償 (アルバイト・インターンシップ中や受託物の破損等の事故も補償)

他人にケガをさせたり他人の物を壊したりした場合の補償です。ご家族も補償\*されます。

(例)あやまって他人にぶつかり、大ケガを負わせ損害賠償を請求されることになってしまった。

※賠償責任保険金の被保険者の範囲は、別冊7ページをご覧ください。

自転車事故による賠償額が高額となる場合もあります。



### 示談交渉サービス付

日本国内において被保険者に法律上の損害賠償責任が発生した場合は、被保険者のお申出により、示談交渉をお引受します。(受託物の損害賠償を除きます。)

賠償額	事故の概要
9,521万円	男子小学生(11才)が帰宅途中に自転車で行中、歩道と車道の区別のない道路において歩行中の女性(62才)と正面衝突。女性は頭蓋骨骨折等の傷害を負い、意識が戻らない状態となった。

(神戸地方裁判所、平成25年7月4日判決)

## II. 学資費用補償

### <学資費用補償>

扶養者がケガにより死亡または重度後遺障害になられた場合に、授業料などの学費を上記「学資費用保険金のお支払例」のようにお支払いします。

(例)入学後、ある日突然、学費を負担していた父親が交通事故で亡くなってしまった。

疾病学資費用補償(A1・A2・B1・B2・E1・E2・F1・F2セット)にご加入の場合は、扶養者が病気により死亡された場合にも上記の事例のようにお支払いします。

※お支払いする保険金額はセットにより異なります。



## III. 学生本人のケガの補償(傷害補償)

お子さまが国内・外を問わずケガにより死亡・後遺障害が生じた場合、入院、手術、通院した場合にお支払いします。※細菌性食中毒およびウイルス性食中毒、日射または熱射による身体の障害の場合もケガに含まれます。



## IV. 学生本人の病気の補償(疾病補償)

お子さまが国内・外を問わず病気により入院、手術、放射線治療等を受けた場合にお支払いします。



## V. 天災危険補償

天災危険補償特約がセットされていますので、地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波によるケガの場合も傷害保険金、学資費用保険金をお支払いします。

(例)地震によってビルの割れた窓ガラスにあたり、ケガを負ってしまった。



## VI. 特定感染症危険補償

特定感染症を発病し、後遺障害が発生した場合や入院、通院された場合にお支払いします。

(例)新型コロナウイルスに罹患し、入院した。



## VII. 借家人賠償責任補償

(自宅外通学生のみ)〈国内のみ補償〉

借りている部屋を失火等で損壊してしまった場合、家主に対して負担する損害賠償を補償します。

(例)台所の火の不始末で下宿先で火事を起こしてしまった。

自分にケガはなかったが、家主より損害賠償を請求されてしまった。



## VIII. 生活用動産補償

(自宅外通学生のみ)〈国内のみ補償〉

家財の損害を補償します。

(例)下宿先で、不注意により家具を壊してしまった。

※免責金額については別冊3ページをご参照ください。



# 加入セットは皆さまのニーズに合わせてお選びください。

**Q.1** 扶養者がケガにより死亡された場合や重度後遺障害になられた場合の学資費用補償は必要ですか？

必要あり

**Q.2** 扶養者が病気により死亡された場合の学資費用補償は必要ですか？

必要あり

必要なし

必要なし

4年間 A1・A2・B1・B2セット  
2年間 E1・E2・F1・F2セット

4年間 C1・C2セット  
2年間 G1・G2セット

4年間 D1・D2セット  
2年間 H1・H2セット



ご自宅から通学している場合は「自宅通学生プラン」、ご自宅外から通学している場合は「自宅外通学生\*プラン」となります。  
\*賃貸借契約を結んで借りた賃貸マンション・アパート等に住み、通学している学生をいいます。  
(自宅外通学生プランには、借家人賠償責任補償(オールリスク)特約、生活用動産補償(実損補償型)特約がセットされます。)

保険金額・保険料 (注2)		自宅通学生プラン				自宅外通学生プラン				
		学資費用 ケガ+病気補償		学資費用 ケガのみ補償	学資費用 なし	学資費用 ケガ+病気補償		学資費用 ケガのみ補償	学資費用 なし	
大学用	セット名と保険料 (4年間一時払)	A1セット 90,000円	B1セット 75,000円	C1セット 57,000円	D1セット 53,000円	A2セット 99,000円	B2セット 89,000円	C2セット 70,000円	D2セット 65,000円	
大学院用	セット名と保険料 (博士後期課程・ 2年間一時払)	E1セット 37,000円	F1セット 32,000円	G1セット 28,000円	H1セット 27,000円	E2セット 43,000円	F2セット 39,000円	G2セット 35,000円	H2セット 34,000円	
I 賠償責任保険金額 (注3)(注4)		3億円 (記録情報限度額500万円)								
II 学資費用	学資費用保険 金額(ケガ)(注1)	(1年につき) 100万円				—	(1年につき) 100万円			
	疾病学資費用保険 金額(病気)(注1)	(1年につき) 100万円	(1年につき) 50万円	—		(1年につき) 100万円	(1年につき) 50万円	—		
III 学生本人のケガの補償	死亡・後遺 障害保険 金額	4年間	118.3万円	106.9万円	32.4万円	53.2万円	47.7万円	141.6万円	46.1万円	45.8万円
		2年間	70.1万円	17.1万円	3.9万円	14.3万円	49.0万円	35.8万円	22.7万円	33.0万円
IV 学生本人の病気の補償	入院保険金日額	(1日につき)3,000円								
	手術保険金	入院中に受けた手術の場合は 入院保険金日額の10倍 それ以外の手術の場合は 入院保険金日額の5倍								
	通院保険金日額	(1日につき)2,000円								
	疾病入院 保険金日額	(1日につき)3,000円								
V 天災危険補償	疾病手術 保険金	入院中に受けた手術の場合は疾病入院保険金日額の10倍 それ以外の手術の場合は疾病入院保険金日額の5倍								
	放射線治療 保険金	1回の放射線治療について疾病入院保険金日額の10倍								
	疾病通院 保険金日額	(1日につき)2,000円 疾病入院が終了し、退院した後、疾病入院の原因となった病気と同一の病気により通院された場合								
VI 特定感染症危険補償	II・IIIのケガの補償が対象(IIの疾病学資費用は除く)									
VII 借家人賠償責任保険金額 (自宅外通学生のみ)	—					1,000万円				
VIII 生活用動産保険金額 (自宅外通学生のみ)	—					50万円				

上記は職種級別A(学生等)の保険料です。お子さま(学生本人)がそれ以外のご職業の場合には代理店・扱者または引受保険会社までお問い合わせください。  
(注1)学資費用保険金・疾病学資費用保険金の学業費用支払対象期間は保険期間4年間の場合は2026年4月1日まで、保険期間2年間の場合は2024年4月1日までです。  
(注2)前年度ご加入いただいた被保険者の人数によって割引率が適用されます。  
(注3)賠償責任補償の被保険者の範囲は別冊7ページをご参照ください。  
(注4)賠償責任補償等においては、補償内容が同様の保険契約(学生・子ども総合保険契約以外の保険契約にセットされた特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。)が他にあるときは、補償が重複することがあります。補償が重複すると、補償対象となる事故による損害については、いずれの保険契約からでも補償されますが、損害の額等によってはいずれか一方の保険契約からは保険金が支払われない場合があり、保険料が無駄になることがあります。補償内容の差異や保険金額等を確認し、特約の可否を判断のうえ、ご加入ください。

## 保険金のお支払事例 ～例えばこんなことが起こったら～

### < 例1 >

お子さまが部活動中に熱中症にかかり、5日間入院、退院後3日間通院した。



### < 例2 >

お子さまがスポーツで腕を複雑骨折し、10日間入院。手術を受けて退院後20日間通院した。



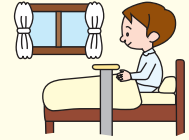
### < 例3 >

お子さまが自転車に乗っていて通行人に衝突し、ケガをさせ損害賠償責任を負った。



### < 例4 >

お子さまが盲腸で5日間入院、手術を受けた。



## 事故が起こったら

### 事故が起こったら

早急に  
(30日以内)にご連絡を



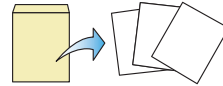
### 電話連絡をしてください

三井住友海上へのご連絡は  
24時間365日  
事故受付サービス  
三井住友海上  
事故受付センター  
**0120-258-189**  
(無料)



### 請求書を提出

必要な書類が送付されますので、できるだけ早く書類を提出ください。



### 保険金が支払われます

銀行振込みでお支払いします。



## お申込方法・ご加入方法

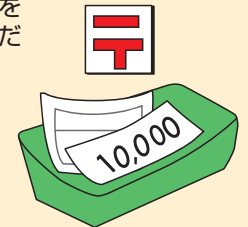
ご加入セットをご選択ください。  
次に、ご加入セットの保険料をご確認ください(保険料はすべて一時払です)。



同封しております払込取扱票の記入例を参考にして必要事項をご記入ください。



最寄りのゆうちょ銀行または郵便局で保険料をお振込みください。



## 加入者証

この制度は団体契約のため、加入者証は最終加入者が確定後、郵送いたします。  
加入者証到着までは振替払込請求書兼受領証が、この制度の加入の証となりますので、大切に保管ください。

### ◎ 加入者証郵送時期：5月下旬～6月中旬頃

ご加入いただいた後にお届けする加入者証は、内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

## お問い合わせ先

### ●代理店・扱者

#### 株式会社KUパートナーズ

(学校法人神奈川大学100%出資事業会社)

電話 045-491-1775

FAX 045-491-1780

〒221-8686 神奈川県横浜市神奈川区六角橋3-27-1

募集締切日後にお申込みの際は、必ず代理店・扱者までご一報ください。

### ●引受保険会社

#### 三井住友海上火災保険株式会社

広域法人部営業第三課

〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台3-11-1

# ご加入いただく保険の内容

2022年度神奈川大学・大学院学生総合補償制度別冊 (必ず神奈川大学・大学院(2022年度)学生総合補償制度のご案内とあわせてお読みください。)

※印を付した用語については、本別冊6ページの「※印の用語のご説明」をご覧ください。(各欄の初出時のみ※印を付しています。)

保険金の種類	補償地域		保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額
	国内	国外		
賠償責任保険金 ☆賠償責任条項の一部変更に関する特約セット	○	△	<p>次のいずれかの事由により、法律上の損害賠償責任を負われた場合</p> <p>①保険期間中の次のア.またはイ.の偶然な事故により、他人の生命または身体を害したり、他人の物<sup>(※1)</sup>を壊したりした事。</p> <p>②日本国内において保険期間中の次のア.またはイ.の偶然な事故により、誤って線路へ立入ってしまったこと等が原因で電車等<sup>(※2)</sup>を運行不能<sup>(※3)</sup>にさせた事。</p> <p>③補償対象受託物<sup>(※4)</sup>の損壊、紛失または盗難<sup>(※5)</sup>(住宅<sup>(※6)</sup>内保管中または一時的に住宅<sup>(※6)</sup>外で管理している間に限ります。)</p> <p>ア.住宅<sup>(※7)</sup>の所有、使用または管理に起因する偶然な事故</p> <p>イ.被保険者の日常生活に起因する偶然な事故</p> <p>(※1)情報機器等に記録された情報を含みます。 (※2)電車、気動車、モノレール等の軌道上を走行する陸上の乗用具をいいます。 (※3)正常な運行ができなくなることをいいます。ただし、運行することにつき、物理的な危険を伴うものをいいます。 (※4)「補償対象受託物」とは、被保険者が他人(レンタル業者を含みます。)から預かった財物をいいます。ただし、別記の「補償対象外となる主な『受託物』」を除きます。 (※5)上記③に掲げる事由に対して保険金を支払うのは、被保険者が、補償対象受託物<sup>(※4)</sup>につき正当な権利を有する者に対して損害賠償責任を負担することによって被った損害に限ります。 (※6)被保険者の居住の用に供される住宅をいい、敷地を含みます。 (※7)本人の居住の用に供される住宅をいい、敷地内の動産および不動産を含みます。 (注)被保険者の範囲は、次のとおりです。なお、ア.からオ.までの方が責任無能力者である場合は、親権者・法定監督義務者・監督義務者に代わって責任無能力者を監督する方(責任無能力者の6親等内の血族、配偶者<sup>※</sup>および3親等内の姻族に限ります。)を被保険者とします。 ア.本人、イ.親権者およびその他の法定の監督義務者、ウ.配偶者、エ.本人・親権者・配偶者と同居の本人・配偶者の親族(6親等内の血族および3親等内の姻族)、オ.本人・親権者・配偶者と別居の本人・配偶者の未婚の子</p>	<p>被保険者が損害賠償請求権者に対して負担する法律上の損害賠償責任の額+判決により支払を命ぜられた訴訟費用または判決日までの遅延損害金-被保険者が損害賠償請求権者に対して損害賠償金を支払ったことにより代位取得するものがある場合は、その価額-免責金額<sup>※</sup>(0円)</p> <p>(注1)1回の事故につき、賠償責任保険金額が限度となります。ただし、情報機器等に記録された情報のみの事故については、1回の事故につき、記録情報限度額(500万円)または賠償責任保険金額のいずれか低い額が限度となります。 (注2)損害賠償金額等の決定については、あらかじめ引受保険会社の承認を必要とします。 (注3)上記算式により計算した額とは別に、損害の発生または拡大を防止するために必要または有益であった費用、示談交渉費用、争訟費用等をお支払いします。 (注4)日本国内において発生した左記「保険金をお支払いする場合」①および②の事故については、被保険者のお申出により、示談交渉をお引受します。ただし、損害賠償請求権者が同意されない場合、被保険者が負担する法律上の損害賠償責任の額が賠償責任保険金額を明らかに超える場合、正当な理由なく被保険者が協力を拒んだ場合、損害賠償請求に関する訴訟が日本国外の裁判所に提起された場合は示談交渉を行うことができませんのでご注意ください。 (注5)補償内容が同様の保険契約(異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。)が他にある場合、補償の重複が生じることがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の可否をご確認いただいたうえでご加入ください。</p>
死亡保険金	○	○	<p>保険期間中の事故によるケガ<sup>※</sup>のため、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡された場合</p>	<p>死亡・後遺障害保険金額の全額</p> <p>(注1)死亡保険金受取人(定めなかった場合は被保険者の法定相続人)にお支払いします。 (注2)既にお支払いした後遺障害保険金(特定感染症危険「後遺障害保険金、入院保険金および通院保険金」補償特約によりお支払いした特定感染症<sup>※</sup>に関する後遺障害保険金を含みます。)がある場合は、死亡・後遺障害保険金額から既にお支払いした後遺障害保険金の額を差し引いた額をお支払いします。 保険期間が1年を超える保険契約においては、その事故の発生した保険年度<sup>※</sup>と同一の保険年度に発生した事故によるケガ<sup>※</sup>に対して既にお支払いした後遺障害保険金がある場合は、死亡・後遺障害保険金額から既にお支払いした後遺障害保険金の額を差し引いた額をお支払いします。</p>
後遺障害保険金	○	○	<p>保険期間中の事故によるケガ<sup>※</sup>のため、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に後遺障害<sup>※</sup>が発生した場合</p>	<p>死亡・後遺障害保険金額×約款所定の保険金支払割合(4%~100%)</p> <p>(注1)政府労災保険に準じた等級区分ごとに定められた保険金支払割合で、後遺障害保険金をお支払いします。 (注2)被保険者が事故の発生の日からその日を含めて180日を超えてなお治療<sup>※</sup>を要する状態にある場合は、引受保険会社は、事故の発生の日からその日を含めて181日目における医師<sup>※</sup>の診断に基づき後遺障害<sup>※</sup>の程度を認定して、後遺障害保険金をお支払いします。 (注3)同一の部位に後遺障害を加重された場合は、既にあった後遺障害に対する保険金支払割合を控除して、保険金をお支払いします。 (注4)既にお支払いした後遺障害保険金(特定感染症危険「後遺障害保険金、入院保険金および通院保険金」補償特約によりお支払いした特定感染症<sup>※</sup>に関する後遺障害保険金を含みます。)がある場合は、死亡・後遺障害保険金額から既にお支払いした後遺障害保険金の額を差し引いた額が限度となります。また、保険期間を通じてお支払いする後遺障害保険金は、死亡・後遺障害保険金額が限度となります。保険期間が1年を超える保険契約においては、その事故の発生した保険年度<sup>※</sup>と同一の保険年度に発生した事故によるケガ<sup>※</sup>に対して既にお支払いした後遺障害保険金がある場合は、死亡・後遺障害保険金額から既にお支払いした後遺障害保険金の額を差し引いた額が限度となります。また、それぞれの保険年度ごとにお支払いする後遺障害保険金は、死亡・後遺障害保険金額が限度となります。</p>
入院保険金	○	○	<p>保険期間中の事故によるケガ<sup>※</sup>のため、入院<sup>※</sup>された場合</p>	<p>入院保険金日額×入院<sup>※</sup>した日数</p> <p>(注1)事故の発生の日からその日を含めて180日を経過した後の入院に対しては保険金をお支払いしません。 (注2)入院保険金をお支払いする期間中にさらに入院保険金の「保険金をお支払いする場合」に該当するケガ<sup>※</sup>を被った場合は、入院保険金を重ねてはお支払いしません。</p>
手術保険金	○	○	<p>保険期間中の事故によるケガ<sup>※</sup>の治療<sup>※</sup>のため、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に手術<sup>※</sup>を受けられた場合</p>	<p>①入院<sup>※</sup>中に受けた手術<sup>※</sup>の場合 入院保険金日額×10 ②①以外の手術の場合 入院保険金日額×5 (注)1事故に基づくケガ<sup>※</sup>について、1回の手術に限ります。また、1事故に基づくケガ<sup>※</sup>について①および②の手術を受けた場合は、①の算式によります。</p>

保険金の種類		補償地域 国内 国外	保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額
傷害保険金	通院保険金	○ ○	<p>保険期間中の事故によるケガ*のため、通院*された場合            (注)通院されない場合で、骨折、脱臼、靱(じん)帯損傷等のケガを被った所定の部位*を固定するために医師*の指示によりギプス等*を常時装着したときは、その日数について通院したものとみなします。</p>	<p>通院保険金日額×通院*した日数            (注1)事故の発生の日からその日を含めて180日を経過した後の通院に対しては保険金をお支払いしません。また、お支払いする日数は90日が限度となります。            (注2)入院保険金をお支払いする期間中に通院された場合は、通院保険金をお支払いしません。            (注3)通院保険金をお支払いする期間中にさらに通院保険金の「保険金をお支払いする場合」に該当するケガ*を被った場合は、通院保険金を重ねてはお支払いしません。</p>
	<p>特定感染症による後遺障害保険金            ★特定感染症危険「後遺障害保険金、入院保険金および通院保険金」補償特約</p>	○ ○	<p>保険期間中に特定感染症*を発病*し、発病の日からその日を含めて180日以内に後遺障害*が発生した場合</p>	<p>死亡・後遺障害保険金額×約款所定の保険金支払割合(4%～100%)            (注1)政府労災保険に準じた等級区分ごとに定められた保険金支払割合で、特定感染症*による後遺障害保険金をお支払いします。            (注2)被保険者が発病*の日からその日を含めて180日を超えてなお治療*を要する状態にある場合は、引受保険会社は、発病の日からその日を含めて181日目における医師*の診断に基づき後遺障害*の程度を認定して、特定感染症による後遺障害保険金をお支払いします。            (注3)同一の部位に後遺障害を加重された場合は、既にあった後遺障害に対する保険金支払割合を控除して、保険金をお支払いします。            (注4)既にお支払いした後遺障害保険金または特定感染症による後遺障害保険金がある場合は、死亡・後遺障害保険金額から既にお支払いした後遺障害保険金または特定感染症による後遺障害保険金の額を差し引いた額が限度となります。また、保険期間を通じてお支払いする死亡保険金、後遺障害保険金および特定感染症による後遺障害保険金は、死亡・後遺障害保険金額が限度となります。保険期間が1年を超える保険契約においては、その特定感染症を発病した保険年度*と同一の保険年度に発生した事故によるケガ*または発病した特定感染症に対して既にお支払いした後遺障害保険金がある場合は、死亡・後遺障害保険金額から既にお支払いした後遺障害保険金または特定感染症による後遺障害保険金の額を差し引いた額が限度となります。</p>
	<p>特定感染症による入院保険金            ★特定感染症危険「後遺障害保険金、入院保険金および通院保険金」補償特約</p>	○ ○	<p>保険期間中に特定感染症*を発病*し、その特定感染症のため入院*された場合</p>	<p>入院保険金日額×入院*した日数            (注1)感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号)第18条第2項の規定による就業制限が課された場合は、入院したものとみなします。            (注2)特定感染症*を発病*した日からその日を含めて180日を経過した後の入院に対しては、特定感染症による入院保険金をお支払いしません。また、お支払いする入院の日数は180日が限度となります。            (注3)入院保険金または特定感染症による入院保険金をお支払いする期間中にさらに特定感染症による入院保険金の「保険金をお支払いする場合」に該当する特定感染症を発病した場合は、特定感染症による入院保険金を重ねてはお支払いしません。            (注4)特定感染症による入院保険金をお支払いする期間中にさらに入院保険金の「保険金をお支払いする場合」に該当するケガ*を被った場合は、入院保険金をお支払いしません。            (注5)特定感染症による入院保険金をお支払いする期間中に通院された場合は、通院保険金をお支払いしません。</p>
	<p>特定感染症による通院保険金            ★特定感染症危険「後遺障害保険金、入院保険金および通院保険金」補償特約</p>	○ ○	<p>保険期間中に特定感染症*を発病*し、その特定感染症のため通院*された場合</p>	<p>通院保険金日額×通院*した日数            (注1)特定感染症*を発病*した日からその日を含めて180日を経過した後の通院に対しては、特定感染症による通院保険金をお支払いしません。また、お支払いする通院の日数は90日が限度となります。            (注2)入院保険金または特定感染症による入院保険金をお支払いする期間中に通院された場合は、特定感染症による通院保険金をお支払いしません。            (注3)通院保険金または特定感染症による通院保険金をお支払いする期間中にさらに特定感染症による通院保険金の「保険金をお支払いする場合」に該当する特定感染症を発病した場合は、特定感染症による通院保険金を重ねてはお支払いしません。            (注4)特定感染症による通院保険金をお支払いする期間中にさらに通院保険金の「保険金をお支払いする場合」に該当するケガ*を被った場合は、通院保険金をお支払いしません。</p>
	<p>疾病入院保険金            ★疾病補償基本特約            欄外(☆)参照</p>	○ ○	<p>保険期間の開始後(*)に発病*した病気*のため、保険期間中に、入院*された場合(以下、この状態を「疾病入院」といいます。)            (*)病気を補償する加入タイプに継続加入された場合は、継続加入してきた最初のご契約の保険期間の開始後とします。</p>	<p>疾病入院保険金日額×疾病入院の日数            (注1)疾病入院の日数には以下の日数を含みません。            ・疾病入院された日からその日を含めて支払対象期間*(180日)が満了した日の翌日以降の疾病入院の日数            ・1回の疾病入院*について、疾病入院保険金を支払うべき日数の合計が支払限度日数*(180日)に到達した日の翌日以降の疾病入院の日数            (注2)疾病入院保険金をお支払いする期間中にさらに疾病入院保険金の「保険金をお支払いする場合」に該当する病気*を発病*された場合は、疾病入院保険金を重ねてはお支払いしません。</p>
疾病保険金	<p>疾病手術保険金            ★疾病補償基本特約            欄外(☆)参照</p>	○ ○	<p>①疾病入院保険金をお支払いする場合で、その病気*の治療*のために疾病入院保険金の支払対象期間*(180日)中に手術*を受けられたとき。            ②保険期間の開始後(*)に発病*した病気*の治療のために、保険期間中に手術を受けられた場合            (*)病気を補償する加入タイプに継続加入された場合は、継続加入してきた最初のご契約の保険期間の開始後とします。</p>	<p>1回の手術*について、次の額をお支払いします。            ①入院*中に受けた手術の場合            疾病入院保険金日額×10            ②①以外の手術の場合            疾病入院保険金日額×5            (注)次に該当する場合のお支払方法は下記のとおりとなります。            ①同一の日に複数回の手術を受けた場合            疾病手術保険金の額の高いいずれか1つの手術についてのみ保険金をお支払いします。            ②1回の手術を2日以上にわたって受けた場合            その手術の開始日についてのみ手術を受けたものとします。            ③医科診療報酬点数表に手術料が1日につき算定されるものとして定められている手術に該当する場合            その手術の開始日についてのみ手術を受けたものとします。            ④医科診療報酬点数表において、一連の治療*過程で複数回実施しても手術料が1回のみ算定されるものとして定められている区分番号に該当する手術について、被保険者が同一の区分番号に該当する手術を複数回受けた場合            その手術に対して疾病手術保険金が支払われることとなった直前の手術を受けた日からその日を含めて14日以内に受けた手術に対しては、保険金をお支払いしません。</p>

保険金の種類		補償地域 国内 国外	保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額
放射線治療 保険金 ★疾病補償 基本特約 欄外(☆)参照		○ ○	①疾病入院保険金をお支払いする場合で、その病気*の治療*のために疾病入院保険金の支払対象期間*(180日)中に放射線治療*を受けられたとき。 ②保険期間の開始後*に発病*した病気の治療のために、保険期間中に放射線治療を受けられた場合 (* )病気を補償する加入タイプに継続加入された場合は、継続加入してきた最初のご契約の保険期間の開始後とします。	1回の放射線治療*について、次の額をお支払いします。 [疾病入院保険金日額]×[10] (注1)同一の日に複数回の放射線治療を受けた場合は、いずれか1つの放射線治療についてのみ保険金をお支払いします。 (注2)放射線治療保険金を支払うべき放射線治療を複数回受けた場合は、放射線治療保険金が支払われることとなった直前の放射線治療を受けた日からその日を含めて60日以内に受けた放射線治療については、保険金をお支払いしません。
	疾病通院 保険金 ★疾病補償 基本特約 欄外(☆)参照	○ ○	疾病入院保険金をお支払いする疾病入院が終了し、退院した後、その疾病入院の原因となった病気*と同一の病気により通院*された場合(以下、この状態を「疾病通院」といいます。)	[疾病通院保険金日額]×[疾病通院の日数] (注1)疾病通院の日数には以下の日数を含みません。 ・疾病入院の終了した日の翌日から起算して支払対象期間*(180日)が満了した日の翌日以降の疾病通院の日数。なお、疾病入院保険金の支払対象期間(180日)内に疾病入院が終了していない場合には、疾病入院の終了した日または疾病入院保険金の支払対象期間が満了した日の翌日から起算して180日を経過した日のいずれか早い日が疾病入院の終了した日となります。 ・1回の疾病入院*について、疾病通院保険金を支払うべき日数の合計が支払限度日数*(30日)に到達した日の翌日以降の疾病通院の日数 (注2)疾病入院保険金をお支払いする期間中に疾病通院された場合は、疾病通院保険金をお支払いしません。 (注3)疾病通院保険金をお支払いする期間中にさらに疾病通院保険金の「保険金をお支払いする場合」に該当する病気*を発病*した場合は、疾病通院保険金を重ねてはお支払いしません。 (注4)疾病入院の退院日の翌日からその日を含めて180日を経過する日までに、その疾病入院の原因となった病気(これと医学上因果関係がある病気*を含みます。)によって再度疾病入院に該当した場合で、前の疾病入院の終了後、後の疾病入院が開始するまでの期間中に疾病通院されたときは、その日数を疾病通院の日数に含めて疾病通院保険金をお支払いします。
傷害 学資費用 保険金 ★学業費用 補償特約		○ ○	扶養者*が、保険期間中の事故によるケガ*のため、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡されたり、重度後遺障害*の状態になられた場合	被保険者が負担された学資費用*の実額 (注1)学業費用支払対象期間*中に発生した学資費用に限りります。 (注2)保険金のお支払額は、支払年度*ごとに、学資費用保険金額が限度となります。 (注3)補償内容が同様の保険契約(異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。)が他にある場合、補償の重複が生じることがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の要否をご確認いただいたうえでご加入ください。
疾病 疾病学資 費用保険金 ★疾病による学業 費用補償特約 ☆保険期間開始前の 発病の取扱いの変 更に関する特約 (疾病による学業費用 補償特約用)セット		○ ○	扶養者*が、保険期間の開始後*に発病*した病気*のため、保険期間中に死亡された場合 (* )この特約をセットした加入タイプに継続加入された場合は、継続加入してきた最初のご契約の保険期間の開始後とします。	被保険者が負担された学資費用*の実額 (注1)学業費用支払対象期間*中に発生した学資費用に限りります。 (注2)保険金のお支払額は、支払年度*ごとに、疾病学資費用保険金額が限度となります。 (注3)補償内容が同様の保険契約(異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。)が他にある場合、補償の重複が生じることがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の要否をご確認いただいたうえでご加入ください。
借家人賠償 責任保険金 ★借家人賠償 責任補償 (オールリスク) 特約 (注)自宅外通学生プラン のみセットできます。		○ ×	保険期間中に、日本国内において、借入戸室(*1)が被保険者の責任による事故により損壊(*2)し、被保険者(*3)が貸主に対する法律上の損害賠償責任を負われた場合 (*1)「借用住宅」とは、被保険者が借用または使用する被保険者住所の建物または住戸室をいい、転居した場合は転居先の建物または住戸室をいいます。 (*2)「損壊」とは、滅失、破損または汚損をいいます。ただし、滅失には盗難、紛失または詐欺を含みません。 (*3)借用住宅の賃借名義人が被保険者と異なる場合には、その賃借名義人を含みます。なお、これらの方が責任無能力者である場合は、親権者・法定監督義務者・監督義務者に代わって責任無能力者を監督する方(責任無能力者の6親等内の血族、配偶者*および3親等内の姻族に限りります。)を被保険者とします。	被保険者が損害賠償請求権者に対して負担する法律上の損害賠償責任の額+判決により支払を命ぜられた訴訟費用または判決日までの遅延損害金-被保険者が損害賠償請求権者に対して損害賠償金を支払ったことにより代位取得するものがある場合は、その価額-[免責金額*(0円)] (注1)1回の事故につき、借家人賠償責任保険金額が限度となります。 (注2)損害賠償金額等の決定については、あらかじめ引受保険会社の承認を必要とします。 (注3)上記算式により計算した額とは別に、損害の発生または拡大を防止するために必要または有益であった費用、示談交渉費用、争訟費用等をお支払いします。 (注4)補償内容が同様の保険契約(異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。)が他にある場合、補償の重複が生じることがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の要否をご確認いただいたうえでご加入ください。
生活用動産保険金 ★生活用動産補償(実損 補償型)特約 ☆新価保険特約(生活用 動産補償特約用)セット (注)自宅外通学生プラン のみセットできます。		○ ×	保険期間中の日本国内における偶然な事故(盗難・破損・火災など)により、被保険者が所有する生活用動産*に損害が生じた場合 (* )「生活用動産」とは、生活の用に供する家具、什(じゅう)器、衣服、その他生活に通常必要な動産をいいます。ただし、別記の「補償対象外となる主な『生活用動産』」を除きます。	損害の額(再調達価額*によって定めます。)-免責金額*(1回の事故につき、盗難の場合3万円、火災・落雷・破裂・爆発の場合0円、その他の場合1万円) (注1)保険金のお支払額は、保険期間を通じ、生活用動産保険金額が限度となります。ただし、保険金額が再調達価額*を超える場合は、再調達価額が限度となります。 (注2)補償内容が同様の保険契約(異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。)が他にある場合、補償の重複が生じることがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の要否をご確認いただいたうえでご加入ください。



保険金の種類	補償地域 国内 国外	保険金をお支払いしない主な場合
賠償責任 賠償責任条項の一部変更に関する特約セット	○△	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保険契約者、被保険者またはこれらの方の法定代理人の故意による損害</li> <li>● 被保険者の職務遂行(アルバイトおよびインターンシップを除きます。)に直接起因する損害賠償責任(仕事上の損害賠償責任)</li> <li>● 被保険者の使用人(家事使用人を除きます。)が業務従事中に被った身体の障害に起因する損害賠償責任</li> <li>● 第三者との損害賠償に関する約定によって加重された損害賠償責任</li> <li>● 被保険者と同居する親族*に対する損害賠償責任</li> <li>● 他人から借りたり預かったりした物を壊したことによる損害賠償責任(「保険金をお支払いする場合」の③による損害賠償責任には適用しません。)</li> <li>● 心神喪失に起因する損害賠償責任</li> <li>● 被保険者または被保険者の指図による暴行、殴打による損害賠償責任</li> <li>● 自動車等*の車両(ゴルフ場敷地内におけるゴルフカートを除きます。)、船舶、航空機、銃器、職務のために使用する動産または不動産の所有、使用または管理に起因する損害賠償責任</li> <li>● 闘争行為、自殺行為または犯罪行為による補償対象受託物の損害</li> <li>● 自動車等の無資格運転、酒気帯び運転*または麻薬等を使用しての運転中の事故による補償対象受託物の損害</li> <li>● 公権力の行使(差し押え・没収・破壊等)による補償対象受託物の損害</li> <li>● 補償対象受託物に発生した自然発火または自然爆発</li> <li>● 偶然な外来の事故に直接起因しない補償対象受託物の電気的事故・機械的事故(故障等)による損害</li> <li>● 自然の消耗、劣化、性質による変色・さび・かび・腐敗・ひび割れ・剥がれ・発酵・自然発熱、ねずみ食い、虫食い、欠陥等による補償対象受託物の損害</li> <li>● 風、雨、雪、雹(ひょう)、砂塵(じん)その他これらに類するものの吹込みや漏入による補償対象受託物の損害</li> <li>● 引き渡し後に発見された補償対象受託物の損壊による損害賠償責任</li> <li>● 補償対象受託物を使用不能にしたことによる損害賠償責任(収益減少等)</li> <li>● 通常必要とされる取扱い上の注意に著しく反したことまたは本来の用途以外に補償対象受託物を使用したことに起因する損害賠償責任</li> <li>● 戦争、その他の変乱*、暴動による損害</li> <li>● 地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波による損害</li> <li>● 核燃料物質等の放射性・爆発性等による損害賠償責任</li> <li>● 別記の「補償対象外となる主な「受託物」」の損害</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
傷害保険金 死亡保険金 後遺障害保険金 入院保険金 手術保険金 通院保険金	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保険契約者、被保険者、被保険者の親権者・後見人または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失によるケガ*</li> <li>● 闘争行為、自殺行為または犯罪行為によるケガ</li> <li>● 自動車等*の無資格運転、酒気帯び運転*または麻薬等を使用しての運転中のケガ</li> <li>● 脳疾患、病気または心神喪失によるケガ</li> <li>● 妊娠、出産、早産または流産によるケガ</li> <li>● 引受保険会社が保険金を支払うべきケガの治療*以外の外科的手術その他の医療処置によるケガ</li> <li>● 戦争、その他の変乱*、暴動によるケガ(テロ行為によるケガは、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。)</li> <li>● 核燃料物質等の放射性・爆発性等によるケガ</li> <li>● 原因がいかなるときでも、頸(けい)部症候群*、腰痛その他の症状を訴えている場合に、それを裏付けるに足りる医学的他覚所見のないもの*</li> <li>● 入浴中の溺水*(ただし、引受保険会社が保険金を支払うべきケガによって発生した場合には、保険金をお支払いします。)</li> <li>● 原因がいかなるときでも、誤嚥(えん)*によって発生した肺炎</li> <li>● 別記の「補償対象外となる運動等」を行っている間のケガ</li> <li>● 乗用具*を用いて競技等*をしている間のケガ</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
特定感染症による 後遺障害保険金 特定感染症による入院保険金 特定感染症による通院保険金 ★ 特定感染症危険「後遺障害保険金、入院保険金および通院保険金」補償特約	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保険契約者、被保険者、被保険者の親権者・後見人または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失による特定感染症*の発病*</li> <li>● 闘争行為、自殺行為または犯罪行為による特定感染症の発病</li> <li>● 戦争、その他の変乱*、暴動による特定感染症の発病(テロ行為による特定感染症の発病は、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。)</li> <li>● 地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波による特定感染症の発病</li> <li>● 核燃料物質等の放射性・爆発性等による特定感染症の発病</li> <li>● 傷害保険金をお支払いすべきケガ*による特定感染症</li> <li>● 保険責任開始日からその日を含めて10日以内の特定感染症の発病(ただし、この保険契約が特定感染症を補償する継続契約の場合は、保険金の支払対象となります。)</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
疾病保険金 疾病入院保険金 疾病手術保険金 放射線治療保険金 疾病通院保険金 ★ 疾病補償基本特約 欄外(☆)参照	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失による病気*</li> <li>● 闘争行為、自殺行為または犯罪行為による病気</li> <li>● 精神障害(*1)およびそれによる病気</li> <li>● 戦争、その他の変乱*、暴動による病気(テロ行為による病気は、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。)</li> <li>● 核燃料物質等の放射性・爆発性等による病気</li> <li>● 妊娠または出産(「療養の給付」等(*2)の対象となるべき期間については、保険金をお支払いします。)</li> <li>● 原因がいかなるときでも、頸(けい)部症候群*、腰痛その他の症状を訴えている場合に、それを裏付けるに足りる医学的他覚所見のないもの*</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> <p>(注) 保険期間の開始時(*3)より前に発病*した病気(*4)については、保険金をお支払いしません。    ただし、病気を補償する加入タイプに継続加入された場合で、病気を発病した時が、その病気による入院*を開始された日(*5)からご加入の継続する期間を遡及して1年(保険期間が1年を超えるご契約の場合は2年となります。)以前であるときは、保険金をお支払いします。</p> <p>(*1) 「精神障害」とは、平成6年10月12日総務庁告示第75号に定められた分類項目中の分類コードF00からF99に規定されたものとし、分類項目の内容については、厚生労働省大臣官房統計情報部編「疾病、傷害および死因統計分類提要 I C D-10(2003年版)準拠」によります。    &lt;お支払い対象外となる精神障害の例&gt;    認知症、アルコール依存、薬物依存、統合失調症、気分障害、人格障害、知的障害 など</p> <p>(*2) 公的医療保険を定める法令に規定された「療養の給付」に要する費用ならびに「療養費」、「家族療養費」および「保険外併用療養費」をいいます。</p> <p>(*3) 病気を補償する加入タイプに継続加入された場合は、継続してきた最初のご契約の保険期間の開始時をいいます。</p> <p>(*4) 疾病入院の原因となった病気と医学上因果関係がある病気*を含みます。</p> <p>(*5) 疾病入院保険金の支払いを伴わない疾病手術保険金または放射線治療保険金の場合は、それぞれ「手術の開始時」、「放射線治療の開始時」に疾病入院が開始したものとみなします。</p>

保険金の種類		補償地域 国内 国外	保険金をお支払いしない主な場合
傷害	学資費用保険金 ★学業費用補償特約	○ ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保険契約者、被保険者、扶養者*または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失によるケガ*</li> <li>●闘争行為、自殺行為または犯罪行為によるケガ</li> <li>●自動車等*の無資格運転、酒気帯び運転*または麻薬等を使用しての運転中のケガ</li> <li>●脳疾患、病気または心神喪失によるケガ</li> <li>●妊娠、出産、早産または流産によるケガ</li> <li>●引受保険会社が保険金を支払うべきケガの治療*以外の外科的手術その他の医療処置によるケガ</li> <li>●戦争、その他の変乱*、暴動によるケガ(テロ行為によるケガは、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。)</li> <li>●核燃料物質等の放射性・爆発性等によるケガ</li> <li>●入浴中の溺水*(ただし、急激かつ偶然な外来の事故によって被ったケガによって発生した場合を除きます。)</li> <li>●原因がいかなくなるまで、誤嚥(えん)*によって発生した肺炎</li> <li>●扶養者が「保険金をお支払いする場合」に該当された時に、被保険者を扶養されていない場合</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
疾病	疾病学資費用保険金 ★疾病による学業費用補償特約 ☆保険期間開始前の発病の取扱いの変更に関する特約(疾病による学業費用補償特約用)セット	○ ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保険契約者、被保険者、扶養者*または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失による病気</li> <li>●闘争行為、自殺行為または犯罪行為による病気</li> <li>●麻薬、あへん、大麻、覚せい剤、シンナー等の使用によって発病した病気</li> <li>●妊娠、出産、早産または流産による病気</li> <li>●扶養者が「保険金をお支払いする場合」に該当した時に、被保険者を扶養されていない場合</li> <li>●学業費用補償特約で保険金をお支払いすべきケガ*による病気</li> </ul> <p>(注) 保険期間の開始時(*1)より前に発病*した病気(*2)については、保険金をお支払いしません。ただし、この特約をセットした加入タイプに継続加入される場合で、病気を発病した時が、その病気により死亡された日からご加入の継続する期間を遡及して1年(保険期間が1年を超える加入タイプの場合は2年となります。)以前であるときは、保険金をお支払いします。</p> <p>(*1) この特約をセットした加入タイプに継続加入された場合は、継続加入してきた最初のご契約の保険期間の開始時をいいます。 (*2) その病気と医学上因果関係がある病気*を含みます。</p> <p style="text-align: right;">など</p>
	借家人賠償責任保険金 ★借家人賠償責任補償(オールリスク)特約 (注) 自宅外通学生プランのみセットできます。	○ ×	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保険契約者、被保険者またはこれらの方の法定代理人の故意による損害</li> <li>●被保険者の心神喪失または指図に起因する損害賠償責任</li> <li>●借用住宅の改築、増築、取りこわし等の工事による損害</li> <li>●被保険者と貸主との損害賠償に関する特別な約定によって加重された損害賠償責任</li> <li>●貸主に借用住宅を引き渡した後に発見された損壊による損害賠償責任</li> <li>●戦争、その他の変乱*、暴動による損害</li> <li>●地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波による損害</li> <li>●核燃料物質等の放射性・爆発性等による損害</li> <li>●借用住宅の自然の消耗、劣化、性質による変色・さび・かび・腐敗・ひび割れ・はがれ・発酵・自然発熱、ねずみ食い、虫食い、欠陥等による損害</li> <li>●借用住宅の平常の使用または管理において通常発生し得るすり傷、かき傷、塗料のはがれ落ち、ゆがみ、たわみ、へこみその他外観上の損傷または汚損であって、借用住宅が有する機能の喪失または低下を伴わない損害</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
	生活用動産保険金 ★生活用動産補償(実損補償型)特約 ☆新価保険特約(生活用動産補償特約用)セット (注) 自宅外通学生プランのみセットできます。	○ ×	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失による損害</li> <li>●生活用動産の使用・管理を委託された方または被保険者同居する親族*の故意による損害</li> <li>●生活用動産の自然の消耗、劣化、性質による変色・さび・かび・腐敗・ひび割れ・剥がれ・発酵・自然発熱、ねずみ食い、虫食い、欠陥等による損害</li> <li>●公権力の行使(差し押え・没収・破壊等)による損害</li> <li>●生活用動産に対する修理、調整の作業(点検または試運転を伴う場合には、これらを含みます。)上の過失または技術の拙劣によって発生した損害。ただし、火災がこれらの事由によって発生した場合は、その火災によって生じた損害については、保険金を支払います。</li> <li>●偶然な外来の事故に直接起因しない生活用動産の電気的・機械的故障(故障等)による損害。ただし、これらの事由によって発生した火災による損害を除きます。</li> <li>●詐欺または横領によって生活用動産に発生した損害</li> <li>●生活用動産の置き忘れまたは紛失による損害</li> <li>●台風、暴風雨、洪水等の風水災による損害(火災による損害を除きます。)</li> <li>●生活用動産の平常の使用または管理において通常発生し得るすり傷、かき傷、塗料のはがれ落ち、ゆがみ、たわみ、へこみその他外観上の損傷または汚損であって、生活用動産が有する機能の喪失または低下を伴わない損害</li> <li>●戦争、その他の変乱*、暴動による損害(テロ行為による損害は、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。)</li> <li>●地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波による損害</li> <li>●核燃料物質等の放射性・爆発性等による損害</li> <li>●別記の「補償対象外となる主な「生活用動産」」の損害</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

(☆) 疾病入院保険金、疾病手術保険金、放射線治療保険金、疾病通院保険金

【継続加入において、継続前後でご契約のお支払条件が異なる場合のご注意】

病気\*を補償する加入タイプに継続加入の場合で、被保険者が疾病入院(\*1)の原因となった病気(\*2)を発病\*した時がこの保険契約の保険期間の開始時より前であるときは、保険金のお支払額は次の①または②の金額のうち、いずれか低い金額となります。

① 病気を発病した時の保険契約のお支払条件で算出した金額

② この保険契約のお支払条件で算出した金額

ただし、病気(\*2)を発病した時が、その病気による入院(\*1)を開始された日からご加入の継続する期間を遡及して1年(保険期間が1年を超えるご契約の場合は2年となります。)以前であるときは、②により算出した額をお支払いします。

(\*1) 疾病入院保険金の支払いを伴わない疾病手術保険金または放射線治療保険金の場合は、それぞれ「手術の開始時」、「放射線治療の開始時」に疾病入院が開始したものとみなします。

(\*2) 疾病入院(\*1)の原因となった病気と医学上因果関係がある病気\*を含みます。

- 細菌性食中毒およびウイルス性食中毒補償特約がセットされているため、細菌性食中毒およびウイルス性食中毒をケガ\*に含め、保険金をお支払いします。
- 熱中症危険補償特約がセットされているため、日射または熱射による身体の障害の場合も、傷害保険金をお支払いします。
- 天災危険補償特約がセットされているため、地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波によるケガ\*の場合も、傷害保険金および学業費用補償特約の規定による学資費用保険金をお支払いします。
- すべてのご契約に「条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約」が自動的にセットされ、保険金をお支払いしない場合のうち「戦争、その他の変乱\*、暴動」については、テロ行為はお支払いの対象となります。テロ行為とは、政治的、社会的もしくは宗教・思想的な主義・主張を有する団体・個人またはこれと連帯するものがその主義・主張に関して行う暴力的行動をいいます。

#### 補償対象外となる運動等

山岳登山(\*1)、リュージュ、ボブスレー、スケルトン、航空機(\*2)操縦(\*3)、スカイダイビング、ハンググライダー搭乗、超軽量動力機(\*4)搭乗、ジャイロプレーン搭乗  
その他これらに類する危険な運動

(\*1) ビッケル、アイゼン、ザイル、ハンマー等の登山用具を使用するもの、ロッククライミング(フリークライミングを含み、登る壁の高さが5m以下であるボルダリングは含みません。)をいいます。

(\*2) グライダーおよび飛行船は含みません。

(\*3) 職務として操縦する場合は含みません。

(\*4) モーターハンググライダー、マイクロライト機、ウルトラライト機等をいい、パラプレーン等のパラシュート型超軽量動力機は含みません。

補償対象外となる主な「受託物」

通貨、預貯金証書、有価証券、印紙、切手、稿本(本などの原稿)、設計書、図案、証書、帳簿、貴金属、宝石、書画、骨董(とう)、彫刻、美術品、自動車(被牽(けん)引車を含みます。)、原動機付自転車・船舶(ヨット、モーターボート、水上バイク、ボートおよびカヌーを含みます。)、航空機およびこれらの付属品、銃砲、刀剣、前記の「補償対象外となる運動等」を行っている間のその運動等のための用具、動物・植物等の生物、建物(畳、建具、浴槽、流し、ガス台、調理台、棚および電気・ガス・暖房・冷房設備その他の付属設備を含みます。)、門、塀・垣、物置、車庫その他の付属建物 など

補償対象外となる主な「生活用財産」

- (1) 親族\*が居住する建物内に所在する被保険者の生活用財産(例:被保険者である下宿生のご実家に所在する被保険者の生活用財産等)。ただし、賃貸借契約を締結して被保険者が単独で居住している建物の戸室内の生活用財産(例:被保険者である下宿生が居住している下宿の建物の戸室内の生活用財産等)については、補償の対象となります。
- (2) 通貨、有価証券、預金証書または貯金証書(通帳およびキャッシュカードを含みます。)、印紙、切手、定期券、クレジットカード、ローンカード、プリペイドカード、電子マネー、クーポン券、航空券、パスポート、稿本(本などの原稿)・設計書・図案・証書(運転免許証およびパスポートを含みます。)、帳簿・ひな形・鋳型・木型・紙型・模型・勳章・き章・免許状その他これらに類するもの(印章は補償の対象となります。)、貴金属、宝石、書画、骨董(とう)、彫刻物、眼鏡、コンタクトレンズ、義歯、義肢、ハンダグライダー、ウインドサーフィン、パラセール、アクアラング、船舶(ヨット、モーターボート、水上バイク、ボートおよびカヌーを含みます。)、自動車等\*およびこれらの付属品、動物、植物、テープ・カード・ディスク・ドラム等のコンピュータ用の記録媒体に記録されているプログラム・データ(市販されていないものをいいます。) など

※印の用語のご説明(詳細は代理店・扱者または引受保険会社までお問い合わせください。)

- 「医学上因果関係がある病気」とは、医学上重要な関係にある一連の病気をいい、病名を異にする場合であってもこれを同一の病気として取扱います。たとえば、高血圧症とこれに起因する心臓疾患または腎臓疾患等をいいます。
- 「医学的他覚所見のないもの」とは、被保険者が自覚症状を訴えている場合であっても、脳波所見、理学的検査、神経学的検査、臨床検査、画像検査、眼科・耳鼻科検査等によりその根拠を客観的に証明することができないものをいいます。
- 「医師」とは、被保険者が医師の場合は、被保険者以外の医師をいいます。
- 「1回の疾病入院」とは、疾病入院の退院日の翌日からその日を含めて180日を経過する日までに、その疾病入院の原因となった病気(これと医学上因果関係がある病気\*を含みます。))によって再度疾病入院に該当した場合には、前の疾病入院と後の疾病入院を合わせて「1回の疾病入院」として取扱います。
- 「学業費用支払対象期間」とは、扶養者\*が扶養不能状態となった日の翌日から、加入者証等記載の学業費用補償特約の終期までの期間をいいます。
- 「学費費用」とは、在学または進学する学校に納付する費用のうち、在学期間中に毎年必要となる授業料、施設設備費、実験・実習費、体育費、施設設備管理費等をいいます。
- 「ギプス等」とは、ギプス、ギプスシーネ、ギプスシャーレ、シーネその他これらに類するもの(硬性コルセット、創外固定器、その他医学上ギプスと同程度の安静を保つために用いるものをいい、バストバンド、軟性コルセット、サポーター、頸(けい)椎カラー、厚紙副子、ニーブレース等は含まれません。)をいいます。
- 「競技等」とは、競技、競争、興行(\*)または試運転をいいます。また、競技場におけるフリー走行など競技等に準ずるものを含みます。  
(\*)いずれもそのための練習を含みます。
- 「頸(けい)部症候群」とは、いわゆる「むちうち症」をいいます。
- 「ケガ」とは、急激かつ偶然な外来の事故によって身体に被った傷害をいいます。
- 「急激」とは、「事故が突発的で、傷害発生までの過程において時間的間隔がないこと」を意味します。
- 「偶然」とは、「保険事故の原因または結果の発生が被保険者にとって予知できない、被保険者の意思に基づかないこと」を意味します。
- 「外来」とは、「保険事故の原因が被保険者の身体外部からの作用によること、身体に内在する疾病要因の作用でないこと」を意味します。
- 「傷害」には、身体外部から有毒ガスまたは有毒物質を偶然かつ一時に吸入、吸収または摂取した場合に急激に生ずる中毒症状(\*)を含みます。  
(\*)継続的に吸入、吸収または摂取した結果生ずる中毒症状を除きます。
- 「ケガを被った所定の部位」とは、次のいずれかの部位(指、顔面等は含まれません。)をいいます。
  - ・長管骨(上腕骨、橈骨、尺骨、大腿骨、脛骨および腓骨をいいます。以下同様とします。)または脊柱
  - ・長管骨に接続する上肢または下肢の3大関節部分(中手骨、中足骨およびそれらより指先側は含まれません。)。ただし、長管骨を含めギプス等\*の固定具を装着した場合に限りです。
  - ・肋骨・胸骨(鎖骨、肩甲骨は含まれません。)。ただし、体幹部にギプス等の固定具を装着した場合に限りです。
- 「後遺障害」とは、治療\*の効果が医学上期待できない状態であって、被保険者または扶養者の身体に残された症状が将来においても回復できない機能の重大な障害に至ったものまたは身体の一部の欠損をいいます。ただし、被保険者または扶養者が症状を訴えている場合であっても、それを裏付けるに足りる医学的他覚所見のないもの\*を除きます。
- 「誤嚥(えん)」とは、食物、吐物、唾液等が誤って気管に入ること等をいいます。
- 「再調達価額」とは、損害が発生した時の発生した場所における保険の対象と同一の構造、質、用途、規模、型、能力のものを再取得するのに必要な金額をいいます。なお、再取得に必要な額は、被害物を購入したときの金額より低い金額となる場合があります。
- 「自動車等」とは、自動車または原動機付自転車をいいます。
- 「支払限度日数」とは、支払対象期間\*内において、疾病入院保険金および疾病通院保険金の支払いの限度とする日数をいい、それぞれについて、加入者証等記載の期間または日数をいいます。
- 「支払対象期間」とは、疾病入院保険金および疾病通院保険金の支払いの対象となる期間をいい、それぞれについて、加入者証等記載の期間または日数をいいます。なお、「疾病入院」が中断している期間がある場合には、その期間を含む継続した期間をいいます。
- 「支払年度」とは、初年度については、支払対象期間開始日(\*)から1年以内に到来する支払対象期間終了日(\*\*)の応当日までをいいます。次年度以降については、支払対象期間終了日(\*\*)の応当日から1年間をいいます。  
(\*)扶養者\*が扶養不能状態となった日の翌日をいいます。  
(\*\*)加入者証等記載の学業費用補償特約の支払対象期間終了日をいいます。
- 「重度後遺障害」とは、後遺障害\*のうち、両眼の矯正視力が0.02以下になった場合、神経系統の機能等に著しい障害を残し、随時介護を要する場合等をいいます。
- 「酒気帯び運転」とは、道路交通法第65条(酒気帯び運転等の禁止)第1項に定める酒気を帯びた状態で自動車等\*を運転することをいいます。
- 「手術」とは、次のいずれかに該当する診療行為をいいます。
  - ① 公的医療保険制度における医師診療報酬点数表に、手術料の算定対象として列挙されている診療行為(\*)。ただし、創傷処理、皮膚切開術、デブリードマン、骨または関節の非観視的または徒手的な整復術、整復固定術および授動術ならびに抜歯手術を除きます。
  - ② 先進医療\*に該当する診療行為(\*\*)
 (\*1) ①の診療行為には、歯科診療報酬点数表に手術料の算定対象として列挙されている診療行為のうち、医師診療報酬点数表においても手術料の算定対象として列挙されているものを含みます。  
(\*\*2) ②の診療行為は、治療\*を直接の目的として、メス等の器具を用いて患部または必要部位に切除、摘出等の処置を施すものに限りす。ただし、診断、検査等を直接の目的とした診療行為ならびに注射、点滴、全身的薬剤投与、局所的薬剤投与、放射線照射および温熱療法による診療行為を除きます。
- 「乗用具」とは、自動車等\*、モーターボート(水上オートバイを含みます。)、ゴーカート、スノーモービル、その他これらに類するものをいいます。
- 「親族」とは、6親等内の血族、配偶者\*および3親等内の姻族をいいます。
- 「先進医療」とは、手術\*または放射線治療\*を受けた時点において、厚生労働省告示に基づき定められている評価療養のうち、別に厚生労働大臣が定めるもの(先進医療ごとに別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合する病院または診療所において行われるもの)に限りす。をいいます。なお、先進医療の対象となる医療技術、医療機関および適応症等は、一般の保険診療への導入や承認取消等の事由によって、変動します。
- 「その他の変乱」とは、外国の武力行使、革命、政権奪取、内乱、武装反乱その他これらに類似の事変をいいます。
- 「治療」とは、医師\*が必要であると認め、医師が行う治療をいいます。
- 「通院」とは、病院もしくは診療所に通い、または往診もしくは訪問診療により、治療\*を受けることをいい、オンライン診療による診察を含みます。ただし、治療を伴わない、薬剤、診断書、医療器具等の受領等のためのものは含まれません。なお、同月に複数回のオンライン診療を受けた場合、公的医療保険制度における医師診療報酬点数表においてオンライン診療料を1回算定された場合は、最初の1回のみ通院したものとみなします。
- 「溺水」とは、水を吸引したことによる窒息をいいます。
- 「特定感染症」とは、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号)第6条に規定する次のいずれかの感染症をいいます。
  - ① 一類感染症 ② 二類感染症 ③ 三類感染症 ④ 新型コロナウイルス感染症(注1) ⑤ 指定感染症(注2)
 (注1) 新型コロナウイルス感染症とは、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号)第6条第7項第3号に規定するものをいい、病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたもの)に限りす。であるものに限りす。  
(注2) 指定感染症は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号)第7条第1項の規定に基づき一類感染症、二類感染症または三類感染症に適用される規定と同程度の規定を準用することが政令で定められている場合に限りす。
- 「入院」とは、自宅等での治療\*が困難なため、病院または診療所に入り、常に医師\*の管理下において治療に専念することをいいます。
- 「配偶者」とは、婚姻の相手方であり、婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情(内縁関係)にある方および、戸籍上の性別が同一であるが婚姻関係と異なる程度の実質を備える状態にある方を含みます。
- 「発病」とは、医師\*が診断(\*)した発病をいいます。ただし、先天性異常については、医師が診断したことによりはじめて発見されることをいいます。  
(\*)人間ドックや定期健康診断での指摘を含みます。
- 「病気」とは、被保険者が被ったケガ\*以外の身体の障害をいいます。なお、被保険者が病気によって被ったケガについては、病気として取り扱います。
- 「扶養者」とは、被保険者を扶養する方で、加入者証等に記載された方をいいます。
- 「放射線治療」とは、次のいずれかに該当する診療行為をいいます。
  - ① 公的医療保険制度における医師診療報酬点数表に、放射線治療料の算定対象として列挙されている診療行為
  - ② 先進医療\*に該当する放射線照射または温熱療法による診療行為
 (注) ①の診療行為には、歯科診療報酬点数表に放射線治療料の算定対象として列挙されている診療行為のうち、医師診療報酬点数表においても放射線治療料の算定対象として列挙されている診療行為を含みます。
- 「保険年度」とは、保険期間の初日から起算して1年間を第1保険年度といいます。その後は満期日まで順次1年間ずつ、第2保険年度、第3保険年度…とします。ただし、保険期間中に1年未満の端日数がある保険契約の場合には、第1保険年度については、始期日からその端日数期間、第2保険年度については、第1保険年度の末日の翌日から1年間とし、以後同様とします。
- 「免責金額」とは、支払保険金の計算にあたって損害の額から差し引く金額で、自己負担となる金額をいいます。

## ご加入内容確認事項

ご加入手続きに際し、以下の事項を十分にご確認ください。

本確認事項は、万一の事故の際に安心して保険をご利用いただけるよう、ご提案いたしました保険商品がお客さまのご希望に合致した内容であること、ご加入いただくうえで特に重要な事項を正しくご記入いただいていることを確認させていただくためのものです。

お手数ですが、以下の各質問項目について、再度ご確認くださいませようお願い申し上げます。

なお、ご加入にあたりご不明な点や疑問点がございましたら、パンフレット記載の代理店・扱者または引受保険会社までお問い合わせください。

### 1. 保険商品が以下の点でお客さまのご希望に合致した内容となっていることをパンフレット・重要事項のご説明でご確認ください。

万一、ご希望に合致しない場合は、ご加入内容を再度ご確認ください。

**「重要事項のご説明」に記載の、補償が重複する可能性のある特約等については、ご加入の要否をご確認ください。**

- ・保険金のお支払事由(主契約、セットしている特約を含みます。)
- ・保険金額(ご契約金額)
- ・保険期間(保険のご契約期間)
- ・保険料・保険料払込方法

### 2. 加入申込票への記載・記入の漏れ・誤りがないかご確認ください。

以下の項目は、正しい保険料の算出や適切な保険金のお支払い等に必要な項目です。内容をよくご確認ください。加入申込票に正しくご記入いただきますようお願い申し上げます。

**記載・記入の漏れ・誤りがある場合には、訂正あるいは追記をお願いいたします。**

皆さまがご確認ください。

- ・加入申込票の「生年月日」または「年令」欄、「性別」欄は正しくご記入いただいていますか？  
「年令」欄は保険始期日時時点での満年令をご記入ください。  
\*ご記入いただいた年令と生年月日から算出した年令が異なる場合には、生年月日から算出したものを年令として取り扱うことがあります。
- または、事前に打ち出している内容に誤りがないことをご確認いただきましたか？
- ・加入申込票の「職業・職務」欄(「職種級別」欄を含みます。)は正しくご記入いただいていますか？  
または、事前に打ち出している内容に誤りがないことをご確認いただきましたか？
- ・加入申込票の「他の保険契約等」欄は正しくご記入されていますか？  
\*ご加入いただく保険商品の加入申込票によっては、上記の欄がない場合があります。上記のうち欄がないものについてのご確認は不要となります。

## ご加入にあたっての注意事項

- この保険は学校法人神奈川大学が保険契約者となる団体契約です。被保険者が保険料を負担される場合、保険契約者が保険料をとりまとめのうえ引受保険会社に払い込みます。なお、保険契約者が引受保険会社に保険料を払い込まなかった場合には、保険契約が解除され保険金が支払われないことがあります。また、保険契約者または被保険者がご加入の取消等をされた場合、引受保険会社は返還保険料を保険契約者に返還します。
  - お客さまのご加入内容が登録されることがあります。損害保険制度が健全に運営され、死亡保険金、後遺障害保険金、入院保険金、通院保険金等のお支払いが正しく確実に行われるよう、これらの保険金のある保険契約について、一般社団法人 日本損害保険協会が運営する契約内容登録制度への登録を実施しております。
  - 柔道整復師(接骨院、整骨院等)による施術の場合、通院日数の認定にあたっては、傷害の部位や程度に応じ、医師の治療に準じて認定し、お支払いします。また、鍼(はり)・灸(きゅう)・マッサージなどの医療類似行為については、医師の指示に基づいて行われた施術のみ、お支払いの対象となります。
  - 保険金支払事由に該当したときの手続
    - <保険金をお支払いする場合に該当したときの引受保険会社へのご連絡>  
保険金をお支払いする場合に該当したときは、代理店・扱者または引受保険会社までご連絡ください。保険金請求の手続につきまして詳しくご案内いたします。なお、保険金をお支払いする場合に該当した日から30日以内にご連絡がない場合、もしくは知っている事実を告げなかった場合、または事実と異なることを告げた場合は、引受保険会社はそれによって被った損害の額を差し引いて保険金をお支払いすることがあります。
    - 法律上の賠償責任などを負担することによって被った損害を補償する契約の対象となる賠償事故の示談交渉については、事前に引受保険会社へご相談ください。なお、あらかじめ引受保険会社の承認を得ないで損害賠償責任を認めたり、賠償金などを支払われた場合には、保険金をお支払いできないことなどがありますのでご注意ください。  
<示談交渉サービス>  
日本国内において発生した、賠償責任条項の対象となる賠償事故(受託物の破損、紛失または盗取を除きます。)について被保険者のお申出があり、かつ被保険者の同意が得られれば、引受保険会社は原則として被保険者のために示談交渉をお引受けいたします。また、日本国内において発生した賠償事故(受託物の破損、紛失または盗取を除きます。)で保険金が支払われる場合、被害者が保険金相当の損害賠償額を引受保険会社へ直接請求することもできます。  
<示談交渉を行うことができない主な場合>
      - 1回の事故につき、被保険者が負担する法律上の損害賠償責任の額が賠償責任条項で定める保険金額を明らかに超える場合
      - 相手の方が引受保険会社との交渉に同意されない場合
      - 相手の方との交渉に際し、正当な理由なく被保険者が引受保険会社への協力を拒んだ場合
      - 被保険者に対する損害賠償請求に関する訴訟が日本国外の裁判所に提起された場合
    - <保険金のご請求時にご提出いただく書類>  
被保険者または保険金を受け取るべき方(これらの方の代理人を含みます。)が保険金の請求を行う場合は、事故受付後に引受保険会社が求める書類をご提出いただきます。ご不明な点については、代理店・扱者または引受保険会社までお問い合わせください。  
【ご提出いただく書類】以下の書類のうち引受保険会社が求めるもの  
○引受保険会社所定の保険金請求書 ○引受保険会社所定の同意書  
○事故原因・損害状況に関する資料 ○被保険者またはその代理人の保険金請求であることを確認するための資料(住民票、健康保険証(写)等) ○引受保険会社所定の診断書  
○診療状況申告書 ○公の機関(やむを得ない場合は第三者)等の事故証明書 ○死亡診断書 ○他から支払われる損害賠償金・保険金、給付金等の額を確認する書類 ○損害賠償の額および損害賠償請求権者を確認する書類 ○引受保険会社所定の事故内容報告書、損害または費用の発生を確認する書類およびその他これらに類する書類  
事故の内容、損害額等に応じて上記の書類以外の書類をご提出いただくようお願いすることがあります。
  - <代理請求人について>  
高度障害状態となり、意思能力を喪失した場合など、被保険者に保険金を請求できない事情があり、かつ、保険金を受け取るべき被保険者の代理人がない場合には、引受保険会社の承認を得て、その被保険者と同居または生計を共にする配偶者(\*)等(以下「代理請求人」といいます。詳細は(注)をご参照ください。)が保険金を請求することができます。詳細は代理店・扱者または引受保険会社までお問い合わせください。また、**本内容については、代理請求人となれる方にも必ずご説明ください。**  
(注)①「被保険者と同居または生計を共にする配偶者(\*)」  
②上記①に該当する方がいないまたは上記①に該当する方に保険金を請求できない事情がある場合  
「被保険者と同居または生計を共にする3親等内の親族」  
③上記①、②に該当する方がいないまたは上記①、②に該当する方に保険金を請求できない事情がある場合  
「上記①以外の配偶者(\*)」または「上記②以外の3親等内の親族」  
(\*)法律上の配偶者に限ります。
- <保険金支払いの履行期>  
引受保険会社は、保険金請求に必要な書類(\*)1をご提出をいただいたからその日を含めて30日以内に、保険金をお支払いするために必要な事項の確認(\*)2を終えて保険金をお支払いします。(\*)3  
(\*)1 保険金請求に必要な書類は、「保険金のご請求時にご提出いただく書類」をご参照ください。代理請求人が保険金を請求される場合は、被保険者が保険金を請求できない事情を示す書類をご提出いただきます。  
(\*)2 保険金をお支払いする事由の有無、保険金をお支払いしない事由の有無、保険金の額の算出、保険契約の効力の有無、その他引受保険会社がお支払いすべき保険金の額の確定のために確認が必要な事項をいいます。  
(\*)3 必要な事項の確認を行うために、警察などの公の機関の捜査結果の照会、医療機関など専門機関の診断結果の照会、災害救助法が適用された被災地における調査、日本国外における調査等が必要な場合には、普通保険約款・特約に定める日数までに保険金をお支払いします。この場合、引受保険会社は確認が必要な事項およびその確認を終える時期を被保険者または保険金を受け取るべき方に通知します。
- <税法上の取扱い>(2021年10月現在)  
払い込んでいただく保険料のうち、疾病保険金部分の保険料等は生命保険料控除のうち介護医療保険料控除の対象となり、所得税について最高40,000円まで、住民税について最高28,000円までが毎年の課税対象額から控除されます。  
(注1) 傷害保険金部分の保険料等は、保険料控除の対象となりません。  
(注2) なお、この取扱いは今後の税制改正によっては変更となる場合がありますので、ご注意ください。  
(ご注意) 保険期間の始期が午前0時から始まるため、保険始期以前に他の学生・子ども保険・傷害保険等がある場合、その保険終期が2022年4月1日午後4時であること、この保険と16時間重複することになります。この場合事故および保険内容によって両方の保険が支払対象となる場合がありますのでご注意ください。
- <経営破綻した場合等の保険契約者の保護について>
  - 引受保険会社の経営が破綻した場合など保険会社の業務または財産の状況の変化によって、ご加入時に約束した保険金・解約返戻金等のお支払いが一定期間凍結されたり、金額が削減されたりすることがあります。
  - 損害保険会社が経営破綻した場合に保険契約者等を保護する目的で、「損害保険契約者保護機構」があり、引受保険会社も加入しています。この保険は「損害保険契約者保護機構」の補償対象であり、損害保険会社が破綻した場合でも、次のとおり補償されます。  
保険金、解約返戻金等は90%まで補償されます。ただし、破綻前に発生した事故による保険金は100%補償されます。

# 重要事項のご説明

## 契約概要のご説明（学生・こども総合保険）

- ご加入に際して特にご確認いただきたい事項をこの「契約概要」に記載しています。ご加入される前に必ずお読みいただき、ご加入くださいますようお願いいたします。
- 申込人と被保険者（補償の対象者）が異なる場合は、被保険者の方にもこの書面の内容を必ずお伝えください。
- この書面はご加入に関するすべての内容を記載しているものではありません。ご加入の内容は、普通保険約款・特約等によって定まります。ご不明な点については、代理店・扱者または引受保険会社までお問い合わせください。
- 契約取扱者が代理店または社員の場合は、引受保険会社の保険契約の締結権を有し、保険契約の締結・保険料の領収・保険料領収証の発行・ご契約の管理などの業務を行っています。したがって、代理店または社員と契約され有効に成立したご契約につきましては、引受保険会社と直接契約されたものとなります。

### 1. 商品の仕組みおよび引受条件等

#### (1) 商品の仕組み

この保険は、被保険者（補償の対象者）が事故によりケガをされた場合や病気になられた場合、被保険者の扶養者が事故によるケガで亡くなられたり重度後遺障害を負われた場合、および被保険者が法律上の損害賠償責任を負われた場合に保険金をお支払いします。なお、被保険者としてご加入いただける方、扶養者として指定できる方および被保険者の範囲は次のとおりとなります。

●被保険者としてご加入いただける方	保険期間の末日において満22才以下の方または学校教育法に定める次の学校の学生・生徒の方（入学手続を終えた方を含みます。）に限りします。*	
対象となる学校教育法に定める学校	①大学 ②大学院 ③短期大学 ④高等学校 ⑤高等専門学校 ⑥特別支援学校の高等部 ⑦専修学校（専門課程、高等課程、一般課程） ⑧各種学校 ただし⑦、⑧については教育基本法に定める義務教育を修了した方およびこれに相当する方に限りします。	
●扶養者として指定できる方	被保険者を扶養している方で、かつ、次に掲げる条件をすべて満たしている方とします。 ①被保険者の親権者であること（被保険者が成年である場合を除きます。） ②被保険者と同居していること（下宿、扶養者の単身赴任等、被保険者の就学上の理由等で別居している場合を含みます。） ③被保険者の属する世帯の生計を維持していること	
被保険者の範囲	下記以外	加入申込票の被保険者氏名の欄に記載の方（本人）
	賠償責任保険金	①本人、②親権者およびその他の法定監督義務者、③配偶者、④本人・親権者・配偶者と同居の本人・配偶者の親族（6親等内の血族および3親等内の姻族）、⑤本人・親権者・配偶者と別居の本人・配偶者の未婚の子。なお、①から⑤までの方が責任無能力者である場合は、親権者・法定監督義務者・監督義務者に代わって責任無能力者を監督する方（責任無能力者の6親等内の血族、配偶者および3親等内の姻族に限りします。）を被保険者とします。ただし、その責任無能力者に関する事故に限りします。 (注)同居・別居の別および続柄は、損害の原因となった事故発生時におけるものをいいます。住民票上は同居となっても実態が別居の場合は、ここでいう同居には該当しません。
	借家人賠償責任保険金	借用住宅の賃借名義人が本人以外の場合は、本人に加えてその賃借名義人を含みます。なお、これらの方が責任無能力者である場合は、親権者・法定監督義務者・監督義務者に代わって責任無能力者を監督する方（責任無能力者の6親等内の血族、配偶者および3親等内の姻族に限りします。）を被保険者とします。ただし、その責任無能力者に関する事故に限りします。

- (\*) 1. 各省庁が教育施設として設置している税務大学校・航空大学校・自治大学校・防衛大学校等の各種大学校に在籍する学生・生徒の方は対象となりません。  
2. 入学手続を終えた方とは、入学に必要な書類を学校に提出のうえ、入学金およびその他の費用を納入し、学校の定める所定の手続を完了した方をいいます。  
3. 保険始期時点で満1才未満または満30才以上の方は疾病補償基本特約をセットすることはできません。  
4. 自宅から通学している学生・生徒の方は、借家人賠償責任補償（オールリスク）特約および生活用財産補償（実損補償型）特約をセットすることはできません。

#### (2) 補償内容

保険金をお支払いする場合は本別冊1～6ページのとおりです。詳細は普通保険約款・特約に基づきます。

①保険金をお支払いする場合（支払事由）と保険金のお支払額

本別冊1～6ページをご参照ください。

②保険金をお支払いしない主な場合（主な免責事由）

本別冊4～6ページをご参照ください。なお、詳細は普通保険約款・特約の「保険金を支払わない場合」の項目に記載されております。

#### (3) セットできる主な特約およびその概要

本別冊1～6ページをご参照ください。特約の内容の詳細は普通保険約款・特約に基づきます。

#### (4) 保険期間

この保険の保険期間は、4年間・2年間です。お客さまが実際にご加入いただく保険期間については、加入申込票の保険期間欄にてご確認ください。

#### (5) 引受条件

- ご契約の引受範囲および引受範囲外の職業・職務につきましては、「注意喚起情報のご説明」の「2.(2)通知義務等（ご加入後にご連絡いただく事項）」<ご契約の引受範囲><ご契約の引受範囲外>をご参照ください。
- ご加入いただく保険金額につきましては、次の点にご注意ください。お客さまが実際にご加入いただく保険金額につきましては、パンフレット3ページの保険金額欄および加入申込票、普通保険約款・特約等にてご確認ください。
  - ・保険金額は被保険者（補償の対象者）の方の年齢・年収などに照らして適正な金額となるように設定してください。場合により、お引受できない保険金額・ご加入条件等もありますのであらかじめご承知おきください。

### 2. 保険料

保険料は保険金額・保険期間・お仕事の内容等によって決定されます。

お客さまが実際にご加入いただく保険料につきましては、加入申込票の保険料欄にてご確認ください。

### 3. 保険料の払込方法について

パンフレット表紙および4ページをご参照ください。

### 4. 満期返れい金・契約者配当金

この保険には満期返れい金・契約者配当金はありません。

### 5. 解約返れい金の有無

ご加入の脱退（解約）に際しては、ご加入時の条件により、保険期間のうち未経過であった期間の保険料を解約返れい金として返還します。始期日から解約日までの期間に応じて払込みいただくべき保険料の払込状況により追加の保険料をご請求する場合があります。追加で請求したにもかかわらず、その払込みがない場合は、ご契約を解除することがあります。「注意喚起情報のご説明」の「7. 解約と解約返れい金」をご参照ください。

## 注意喚起情報のご説明（学生・子ども総合保険）

- ご加入に際して被保険者にとって不利益になる事項等、特にご注意ください事項をこの「注意喚起情報」に記載しています。ご加入される前に必ずお読みいただき、ご加入くださいますようお願いいたします。
- 申込人と被保険者（補償の対象者）が異なる場合は、被保険者の方にもこの書面の内容を必ずお伝えください。
- この書面はご加入に関するすべての内容を記載しているものではありません。ご加入の内容は、普通保険約款・特約等によって定まります。ご不明な点については、代理店・扱者または引受保険会社までお問い合わせください。
- 契約取扱者が代理店または社員の場合は、引受保険会社の保険契約の締結権を有し、保険契約の締結・保険料の領収・保険料領収証の発行・ご契約の管理などの業務を行っています。したがって、代理店または社員と契約され有効に成立したご契約につきましては、引受保険会社と直接契約されたものとなります。

### 1. クーリングオフ説明書（ご契約のお申込みの撤回等）

この保険は学校法人神奈川大学が保険契約者となる団体契約であることからクーリングオフの対象となりません。

### 2. 告知義務・通知義務等

#### (1) 告知義務（ご加入時にお申出いただく事項）

■被保険者（補償の対象者）には、告知義務があり、代理店・扱者には告知受領権があります。告知義務とは、ご加入時に告知事項について、事実を正確に知らせる義務のことです。

■告知事項とは、危険に関する重要な事項として引受保険会社が告知を求めるもので、加入申込票に記載された内容のうち、「◎」印などの印がついている項目のことです。この項目について、故意または重大な過失によって告知がなかった場合や告知した事項が事実と異なる場合には、ご加入を解除し、保険金をお支払いできないことがあります。加入申込票の記載内容を必ずご確認ください。

#### 【告知事項】

①被保険者の「職業・職務」

②他の保険契約等（\*）に関する情報

（\*）同種の危険を補償する他の保険契約等で、団体総合生活補償保険、普通傷害保険等をいい、いずれも積立保険を含みます。また、他の保険会社等における契約、共済契約、生命保険契約等を含みます。

#### (2) 通知義務等（ご加入後にご連絡いただく事項）

■ご加入後、被保険者に次の事実が発生した場合は、遅滞なくご加入の代理店・扱者または引受保険会社までご連絡ください。ご連絡がない場合、保険金を削減してお支払いすることがありますので、十分ご注意ください。

#### 【通知事項】

①職業・職務を変更した場合

②新たに職業に就いた場合

③職業をやめた場合

また、上記①または②のいずれかにおいて、下記の＜ご契約の引受範囲外＞に該当した場合は、ご契約を解約していただくか、引受保険会社からご契約を解除します。

＜ご契約の引受範囲＞	下記以外の職業
＜ご契約の引受範囲外＞	オートテスター（テストライダー）、オートバイ競争選手、自動車競争選手、自転車競争選手（競輪選手）、モーターボート（水上オートバイを含みます。）競争選手、猛獣取扱者（動物園の飼育係を含みます。）、プロボクサー、プロレスラー、ローラーゲーム選手（レフリーを含みます。）、力士 その他これらと同程度またはそれ以上の危険な職業

■ご加入後、申込人の住所などを変更される場合は、ご契約内容の変更等が必要となります。ただちに代理店・扱者または引受保険会社までご連絡ください。また、次の①または②に該当する場合もご契約内容の変更手続きが必要となりますので代理店・扱者または引受保険会社までご連絡ください。

①扶養の有無または扶養者の変更

②学校の種類の変更

#### (3) その他の注意事項

■同種の危険を補償する他の保険契約等（\*）で、過去3年以内に合計して5万円以上保険金を請求または受領されたことがある場合は、加入申込票の保険金請求欄にその内容を必ず記入してください。

（\*）「同種の危険を補償する他の保険契約等」とは、団体総合生活補償保険、普通傷害保険等をいい、いずれも積立保険を含みます。また、他の保険会社等における契約、共済契約等を含みます。

#### ■保険金受取人について

保険金受取人	死亡保険金	死亡保険金は、特に死亡保険金受取人を定めなかった場合には、被保険者の法定相続人にお支払いします。 （注）死亡保険金受取人を法定相続人以外の方に定める場合、被保険者の同意を確認するための署名などをいただきます。なおこの場合、保険契約者と被保険者が異なるご契約を被保険者の同意のないままにご契約されていたときは、保険契約が無効となります。また、ご契約後に死亡保険金受取人を変更する場合も、被保険者の同意を確認するための署名などをいただきます。
	上記以外	普通保険約款・特約に定めております。

■傷害条項の被保険者が保険契約者以外の方である場合に、次のいずれかに該当するときは、傷害条項の被保険者は保険契約者にこの保険契約（\*）の解約を求めることができます。この場合、保険契約者はこの保険契約（\*）を解約しなければなりません。

①この保険契約（\*）の傷害条項の被保険者となることについて、同意していなかったとき

②保険契約者または保険金を受け取るべき方に、次のいずれかに該当する行為があったとき

・引受保険会社に保険金を支払わせることを目的としてケガ等が発生させ、または発生させようとしたこと。

・保険金の請求について詐欺を行い、または行おうとしたこと。

③保険契約者または保険金を受け取るべき方が、暴力団関係者、その他の反社会的勢力に該当するとき

④他の保険契約等との重複により、保険金額等の合計額が著しく過大となり、保険制度の目的に反する状態がもたらされるおそれがあること。

⑤②～④の場合と同程度に被保険者の信頼を損ない、この保険契約（\*）の存続を困難とする重大な事由が発生させたとき

⑥保険契約者と被保険者との間の親族関係の終了等により、この保険契約（\*）の傷害条項の被保険者となることについて同意した事情に著しい変更があったとき

また、①の場合は、被保険者が引受保険会社に解約を求めることができます。その際は被保険者であることの証明書類等の提出が必要となります。

（\*）保険契約

その被保険者に係る部分に限ります。

#### ■複数のご契約があるお客さまへ

次の特約等をセットする場合、補償内容が同様の保険契約（学生・子ども総合保険以外の保険契約にセットされた特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。）が他にあるときは、補償が重複することがあります。補償が重複すると、補償対象となる事故による損害については、いずれの保険契約からでも補償されますが、損害の額等によってはいずれか一方の保険契約からは保険金が支払われない場合があり、保険料が無駄になることがあります。補償内容の差異や保険金額等を確認し、加入の要否を判断のうえ、ご加入ください。

（注）1 契約のみご加入している場合、ご加入を解約したときや、家族状況の変化（同居から別居への変更等）により被保険者が補償の対象外となったとき等は、補償がなくなることがありますのでご注意ください。

＜補償が重複する可能性のある主な特約等＞

	今回ご加入いただく補償	補償の重複が発生する他の保険契約の例
①	学生・子ども総合保険 賠償責任条項	自動車保険 日常生活賠償特約
②	学生・子ども総合保険 生活用財産補償（実損補償型）特約	火災保険 家財補償条項

### 3. 補償の開始時期

始期日の午前0時に補償を開始します。保険料は、パンフレット表紙および4ページ記載の方法により払込みください。パンフレット表紙および4ページ記載の方法により保険料を払込みいただけない場合には、保険期間が始まった後であっても、保険金をお支払いしません。

### 4. 保険金をお支払いしない主な場合（主な免責事由）等

#### (1) 保険金をお支払いしない主な場合

本別冊4～6ページをご参照ください。なお、保険金を支払わない場合の詳細は普通保険約款・特約の「保険金を支払わない場合」の項目に記載されておりますのでご確認ください。

## (2) 重大事由による解除

次のことがある場合は、ご契約を解除し、保険金をお支払いできないことがあります。

- ① 保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方が、引受保険会社に保険金を支払わせることを目的としてケガ等が発生させ、または発生させようとしたこと。
- ② 被保険者または保険金を受け取るべき方が、保険金の請求について詐欺を行い、または行おうとしたこと。
- ③ 保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方が、暴力団関係者、その他の反社会的勢力に該当すると認められたこと。
- ④ 他の保険契約等との重複により、保険金額等の合計額が著しく過大となり、保険制度の目的に反する状態がもたらされるおそれがあること。
- ⑤ 上記のほか、①～④と同程度に引受保険会社の信頼を損ない、保険契約の存続を困難とする重大な事由が発生させたこと。

## 5. 保険料の払込猶予期間等の取扱い

保険料は、パンフレット表紙および4ページ記載の方法により払込みください。パンフレット表紙および4ページ記載の方法により保険料を払込みいただけない場合には、保険金をお支払いできないことがあります。また、ご契約を解除させていただくことがあります。

## 6. 失効について

ご加入後に、被保険者(\*)が死亡された場合には、この保険契約は失効となります。なお、死亡保険金をお支払いする場合に該当しない事由の死亡による失効のときは、未経過期間分の保険料を返還します。

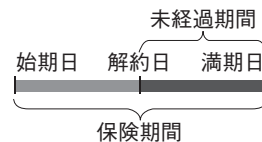
(\*) 傷害条項における被保険者をいいます。

## 7. 解約と解約返れい金

ご加入を中途で脱退(解約)される場合は、ご加入の代理店・扱者または引受保険会社までお申出ください。

・脱退(解約)日から満期日までの期間に応じて、解約返れい金を返還させていただきます。ただし、解約返れい金は原則として未経過期間分よりも少なくなります。

・始期日から脱退(解約)日までの期間に応じて払込みいただくべき保険料について、追加のご請求をさせていただくことがあります。



## 8. 保険会社破綻時等の取扱い

本別冊7ページをご参照ください。

## 9. 個人情報の取扱いについて

本別冊11ページをご参照ください。

## 10. 「現在のご契約の解約・減額を前提とした新たなご契約」のご注意

現在のご契約について解約、減額などの契約内容の変更をされる場合には、被保険者にとって不利益となるときがあります。また、新たにお申込みの保険契約についても制限を受ける場合があります。

### (1) 現在のご契約について解約、減額などをされる場合の不利益事項

① 多くの場合、現在のご契約の解約返れい金は払込みいただいた保険料の合計額よりも少ない金額となります。特にご契約後短時間で解約された場合の解約返れい金はまったくないか、あってもごくわずかです。

② 一定期間の契約継続を条件に発生する配当の請求権を失うことがあります。

### (2) 新たな保険契約(「学生・子ども総合保険」の疾病補償基本特約、疾病による学業費用補償特約)にお申込みされる場合のご注意事項

① 新たにお申込みの保険契約については、その保険契約の責任期間開始前に生じている病気やケガ等に対しては保険金をお支払いできないことがあります。

② 新たにお申込みの保険契約については、現在のご契約と商品内容が異なることがあります。新たな保険契約にご加入された場合、新たな保険契約の普通保険約款・特約が適用されます。

③ 新たにお申込みの保険契約については、保険料計算の基礎となる予定利率・予定死亡率等が解約・減額される契約と異なることがあります。

## この保険商品に関するお問い合わせは

【代理店・扱者】

株式会社KUパートナーズ(学校法人神奈川大学100%出資事業会社)

TEL 045-491-1775

三井住友海上へのご相談・苦情・お問い合わせは

「三井住友海上お客さまデスク」  
0120-632-277 (無料)

【電話受付時間】 平 日 9:00~19:00  
土日・祝日 9:00~17:00 (年末年始は休業させていただきます。)

## 万一、事故が起こった場合は

遅滞なく代理店・扱者または右記にご連絡ください。

24時間365日事故受付サービス  
「三井住友海上事故受付センター」

0120-258-189 (無料)  
事故は いち早く

事故の連絡は、「インターネット受付」も行っています。

インターネット事故受付サービス「三井住友海上保険金請求WEB」は、こちらから

※対応可能な事故は限定されています。詳細はWEB画面をご覧ください。



## 指定紛争解決機関

引受保険会社は、保険業法に基づく金融庁長官の指定を受けた指定紛争解決機関である一般社団法人 日本損害保険協会と手続実施基本契約を締結しています。引受保険会社との間で問題を解決できない場合には、一般社団法人 日本損害保険協会にご相談いただくか、解決の申し立てを行うことができます。

一般社団法人 日本損害保険協会 そんぽADRセンター

[ナビダイヤル(全国共通・通話料有料)]

0570-022-808

- ・受付時間 [平日 9:15~17:00 (土日・祝日および年末年始を除きます)]
- ・携帯電話からも利用できます。IP電話からは03-4332-5241におかけください。
- ・おかけ間違いにご注意ください。
- ・詳細は、一般社団法人 日本損害保険協会のホームページをご覧ください。  
(<https://www.sonpo.or.jp/about/efforts/adr/index.html>)

この保険契約に関する個人情報について、引受保険会社が次の取扱いを行うことに同意のうえお申し込みください。

【個人情報の取扱いについて】

この保険契約に関する個人情報は、引受保険会社がこの保険引受の審査および履行のために利用するほか、引受保険会社およびMS&ADインシュアランスグループのそれぞれの会社(海外にあるものを含む)が、この保険契約以外の商品・サービスのご案内・ご提供や保険引受の審査および保険契約の履行のために利用したり、提携先・委託先等の商品・サービスのご案内のために利用することがあります。

①引受保険会社および引受保険会社のグループ会社の商品・サービス等の例

損害保険・生命保険商品、投資信託・ローン等の金融商品、リスクマネジメントサービス

②提携先等の商品・サービスのご案内の例

自動車購入・車検の斡旋

上記の商品やサービスには変更や追加が生じることがあります。

ただし、保健医療等のセンシティブ情報(要配慮個人情報を含む)の利用目的は、法令等に従い、業務の適切な運営の確保その他必要と認められる範囲に限定します。

また、この保険契約に関する個人情報の利用目的の達成に必要な範囲内で、業務委託先(保険代理店を含む)、保険仲立人、医療機関、保険金の請求・支払いに関する関係先等(いずれも海外にあるものを含む)に提供することがあります。

○契約等の情報交換について

引受保険会社は、この保険契約に関する個人情報について、保険契約の締結ならびに保険金支払いの健全な運営のため、一般社団法人 日本損害保険協会、損害保険料率算出機構、損害保険会社等の間で、登録または交換を実施することがあります。

○再保険について

引受保険会社は、この保険契約に関する個人情報を、再保険契約の締結、再保険契約に基づく通知・報告、再保険金の請求等のために、再保険引受会社等(海外にあるものを含む)に提供することがあります。

引受保険会社の個人情報の取扱いに関する詳細、商品・サービス内容、引受保険会社のグループ会社の名称、契約等情報交換制度等については、三井住友海上ホームページ(<https://www.ms-ins.com>)をご覧ください。



